

2014年 9月 2日発行



本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。  
…会員随時募集中！…

〒247-0066 鎌倉市山崎 1667 鎌倉中央公園管理事務所内 TEL/FAX : 0467-47-1164 木曜を除く 10 時～16 時  
Web URL : <http://www1.ocn.ne.jp/~ya-yato/> E メールアドレス : [ya-yato@arrow.ocn.ne.jp](mailto:ya-yato@arrow.ocn.ne.jp)

8/17 土手の草刈り



農繁期の作業の半分は草刈りと草取りです。盛夏に汗みずくになって刈った草は、照りつける太陽であつという間にカラカラの枯れ草に落ちつき、堆肥へと変身していきます。今年は谷戸の底地をなぎ倒した大雪の影響か、草の勢いが尋常ではない気がします。10月の収穫期まで、まだまだ毎週草刈り隊が活躍しなければなりません。いつしょに汗をかく方をお待ちしています。

もくじ

- ☆各班からのお知らせ→2・3p ☆谷戸の自然だより→4p
- ☆谷戸往来→p5・6 ☆谷戸の体験学習→6・7p ☆9~11月の日程表(裏表紙)

# 各班からのお知らせ



## 田んぼ班

★9/14(日) すがい作り、★20(土)、21(日)、28(日) はさ作り



7月は暑い中、田の草取りに汗を流しました。今年は、毎週土日に取り組んだおかげか、アカウキクサの影響で草の勢いが弱かったこともあり、順調に進みました。高校生やかまくらレンジャーズの方々、青空自主保育関係の若いお母さんたちの参加によってはかどりました。7月の少雨時はちょっと心配しましたが、8月初旬には花の咲いた稻穂が育ちました。10月の稻刈りに向けて準備していきます。

7/6 田の草取り



## 畑班

★9/7(日) たまねぎ・にんじんの種蒔き ★14(日) 草取り・草刈り・耕し  
★21(日) こんにゃく掘り・耕し ★28(日) かぶ・冬菜の種蒔き

今夏は前半、水不足で心配しましたが、後半、台風がもたらした雨のお陰で畑が潤い、小豆が一気に伸び、落花生に続いてたのくろ豆やごまも次々に可憐な花を咲かせて目を楽しませてくれました。

夏も終わりに近づくと冬野菜の作付けが始まり、大根、にんじん、たまねぎ、冬菜などの種を順々に蒔きます。そしてこんにゃく、さつまいもなどの収穫時期を迎えて、実りの秋の到来です。



8/3 さつまいもの草取り・つる返し



## 雑木林管理班

★9/7(日) アズマネザサの刈り取り ★14(日) 刈払い機で草刈り  
★28(日) 稲刈り前の草刈り



梅雨明けから真夏を迎え、田んぼの畔、畑周りの土手などの草刈りを行いました。秋にかけては雑木林の下草刈り、アズマネザサの刈り取りを行う予定です。

毎年、台風の強風で何本かの木が倒れてしまいますが、その撤去も雑木林班の重要な作業です。



## 農芸班

★9/5(金) 草木染め

梅を塩漬けしてから約50日後、赤ジソを収穫し本漬けを行いました。今年も畑班が育てたシソの葉を、思う存分使って仕込みをすることができました。受験勉強の合間にお母さんと参加した中学生が、アク抜きしたシソの葉に梅酢を加えた瞬間の鮮やかな紫色に目を輝かせていました。味も視覚的にも美味しい梅干しを谷戸まつりでお披露目できそうです。残りの赤ジソはジュースにして、作業後の喉を潤しています。

9/5(金)に、保全作業の一環でセイタカアワダチソウやカナムグラなどを抜き「草木染め」として有効活用します。



7/25 赤ジソ仕込み



## 自然遊び班

### 子どもお泊り里山体験

#### 無事終了

7/27～28、鎌倉市公園協会との協働開催でお泊り体験を実施しました。小学4～6年生16名が参加し、畑作業、草取り、火起こし、かまどでの料理、竹工作、かかし作りなど、さまざまな里山の暮らしを味わいました。



夕食風景



かまどで火起こし



## 生態系保全班

カヤネズミの調査をしました。冬にアシの手入れをした場所に巣が見つかり、手を加えていない所よりも少し手をかけ元気になったアシの方が好みのようです。また、調査中にカヤネズミを見ることができ、驚きました。

土手の草刈り中、ゴイシシジミを観察することができました。だいたい8年ぶりでしょうか。このチョウは神奈川県でも少なくなってきたているようです。



ヤマユリ

### こども里山一日体験

#### ★ 9/7(日)「草木染め」

(2歳～小学生までの親子対象  
定員 10組)

他の草木に巻きつくクズを除去し、その葉を煮出して染めものをします。

どんな色に染まるのか、お楽しみに。

### 父と子の里山体験

#### ★ 11/9(日)

#### 「伐って、割って、薪づくり」

(2歳～小学生までの親子対象  
定員 10組)

薪は昔の暮らしに燃料として、欠かせませんでした。木を伐採し、薪にする作業を体験します。

### ★9/3(水)バッタやコオロギの分布

### ★6(土)秋の虫の音を聞く ★28(土)バッタと遊ぼう



ゴイシシジミ



## 植物育成班

### ★9/17(水)植物調査 ★24(水)秋の野草を見る

今年はヤマユリが見事でした。手入れのおかげでしょうか。ミズオオバコを増やしたいと思い、昨年、本田から小段谷戸に移植しましたが、田んぼにはコナギばかりです。ミズオオバコは根付かなかったようです。今年もトライしたいと思います。

冬にクズの根っこを除去した結果、アシにクズが巻き付くことが減っています。また、湿地の草も元気なのでミゾソバやツリフネソウがたくさん咲くことでしょう。

# 谷戸の自然だより

## ～生態系から観た、雑木林の手入れの基本 その6～

### ⑯谷戸の環境別にツルの切り方を考える

生態系保全班が考える手入れの仕方をまとめてみました。異論もあるかもしれません、参考にしていただければと思います。

#### 畑や田んぼの土手

年に2~3回は刈る場所です。ツル植物は草刈りに弱いのでほとんど生えません。ただし手を抜くとクズやカナムグラが生えてくることがあります。クズの根は何年も残りますし、カナムグラは一度でも種を散らすと何年も発芽し続けるので厄介です。根を抜いて駆除しましょう。数少ない草刈りに強いツル植物として、センニンソウがあります。8月の終わりから9月にかけて土手に真っ白な花を一面に咲かせる様子はとても目立ちます。クズやカナムグラのように暴走する植物ではないので、梅雨時に土手の草刈りをする際、土手の隅に数本残しておけば花を楽しむことができるでしょう。

#### 散策路沿いなど林縁（林の辺縁部のこと）

多種類のツル植物が生える環境です。クズやカナムグラなどが生えてきた場合は切った方がよいですが、さまざまなツル植物が少しづつ生えている場合は、それほど気にする必要はないでしょう。ある程度ツル植物が残っている方が生態的に豊かな環境になります。

#### 林の中

フジやキヅタ、ティカカズラなど、よく目立つ太いツルを切りたくなりますが、数年かかるで大きく成長したツル植物はたくさんの花や実をつけるので、野鳥や昆虫に役立っている場合が多く、ある程度残した方がよいと考えています。ただし、芽生えて間もない若いツル植物は、放任していると際限なく増えて地面を覆い、次々に木に巻き付いてくるので駆除に努め、ツル植物があまり増えないようにすることが大切と感じています。

#### 畔跡地や湿地の周辺部

クズ、フジ、カナムグラなどツル植物が生えて、湿地（休耕田の跡地）に侵入していくことが多く、放置していると湿地がツルに覆われて、湿地の植物が失われてしまいます。谷戸の環境ではこのような状況がよく見られますので、毎年駆除を続けていく努力が必要です。現在の湿地は昔は荒地と呼ばれましたが、生態系保全という新しい考え方では、湿地の環境が評価されるようになってきました。特に鎌倉のように狭い里山ではなおさらです。湿地の保全は公園化した里山ならではの作業と言えるでしょう。

### 谷戸の裏方⑪

#### ～屋外作業場復活～

2年前の夏の台風で手作りテントが倒壊して、2年の月日を経てやっと屋外作業場が整備されました。市と公園協会と協議を重ねて昨年の冬に設置されたビニールハウスでしたが、豪雪で新設早々に破損していました。その後修繕してようやく使えるようになりました。

この2年間、収穫したばかりの麦やいも類をどこに干そうかと右往左往したり、台風で倒れた大量の米を公園協会の車で何度も運び、農家風休憩舎を満杯にしたりと、終始一喜一憂の日々でした。

収穫物干場、一時保管場所でもあり、多くの人が出入りして使うため、ビニールハウスでの活動は工夫が必要ですが、作業場の復活に会員一同ほっとしています。





# 谷戸緑系 谷戸緑系 谷戸緑系

## 山崎の夏まつりに参加 7/20(日)

今年も担ぎ手として当会から7名が参加し、夜まで練り歩きました。



## 環境を考える映画上映会を開催 7/24(木)

映画「ハイパワー：大いなる力」は、インド最古の原発による周辺住民の被曝被害等を訴えるドキュメンタリーでした。ムンバイ在住の監督の話を聞き、原発と核開発がセットになって日本から輸出されている現状などを知り、これからは国際的な視野で原発について考えなければならぬと痛感しました。

## 鎌倉に招待した福島の子どもたちに谷戸野菜を提供 8月初旬

「谷戸の畑を存分に活用したい」という思いで、班活動時に会員の喉を潤すために植えたキュウリとミニトマトが大豊作になりました。そこで、福島の子どもたちを鎌倉に招待する「第4回かまくらあそび楽宿」(8/8～10実施)に届けました。参加したのは福島っ子18人、鎌倉っ子12人。みんな、とても美味しいように食べてました。鍋釜類の道具もたくさんお貸しました。

## 鎌倉高校、大船中学校陸上部が大活躍！

7/29(火)、鎌倉高校の1年生 12 名が地元を知る授業の一環として、谷戸保全作業(田の草取り)に精を出してくれました。8/3(日)には、大船中学校陸上部の生徒 50 人が鎌倉中央公園での夏休みトレーニングのあと、1時間ほど、2つの畠の草取りと耕し、雑木林班が刈り取った大量の草の堆肥置き場運びを気持ちよく手伝ってくれました。**【鎌倉高の感想】**☆草取りの前の段階からずっと稻を育ててきた方々のことを本当に尊敬します。大事に大事に育てる過程でお手伝いできることをとても嬉しく思いました。(K. H) ☆1本1本進むたびコツをつかんでいき、また、土と水の温かさが心地よく感じるようになりました。(M. T) ☆田んぼの場所によって水の冷たさが違ったりして思っていたよりすずしかったです。風も吹いて本当にいい場所です。(T. T)**【大船中の感想】**☆私が小さいころからよく遊んでいた大好きな中央公園に貢献できてうれしかったです。(H. O) ☆ひたすら集中して取り組み、いい汗をかくことができたので、この集中力や経験を忘れないようにしたいです。(R. N) ☆自然豊かな所で練習して、農作業をやって、力がついて良い気持ちで帰つて来れたから、また機会があればやりたいと思った。(M. M) ☆お手伝いの後のキュウリはつめたくてとてもおいしかったです。(F. M) ☆やってみると意外にも楽しく、きれいになっていくのを見るとすごく気持ち良かったです。(M. M)



キュウリをパクリ！



鎌倉高・田の草取り



大船中・畠の草取り